

令和3年度 佃島小学校 自己評価報告書

学校名：中央区立佃島小学校

所在地：中央区佃2-3-1

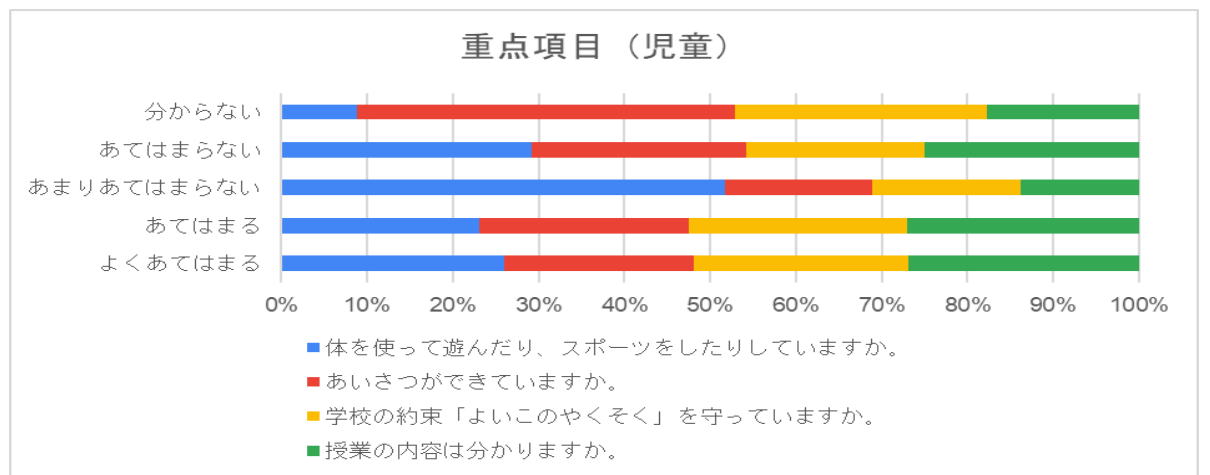
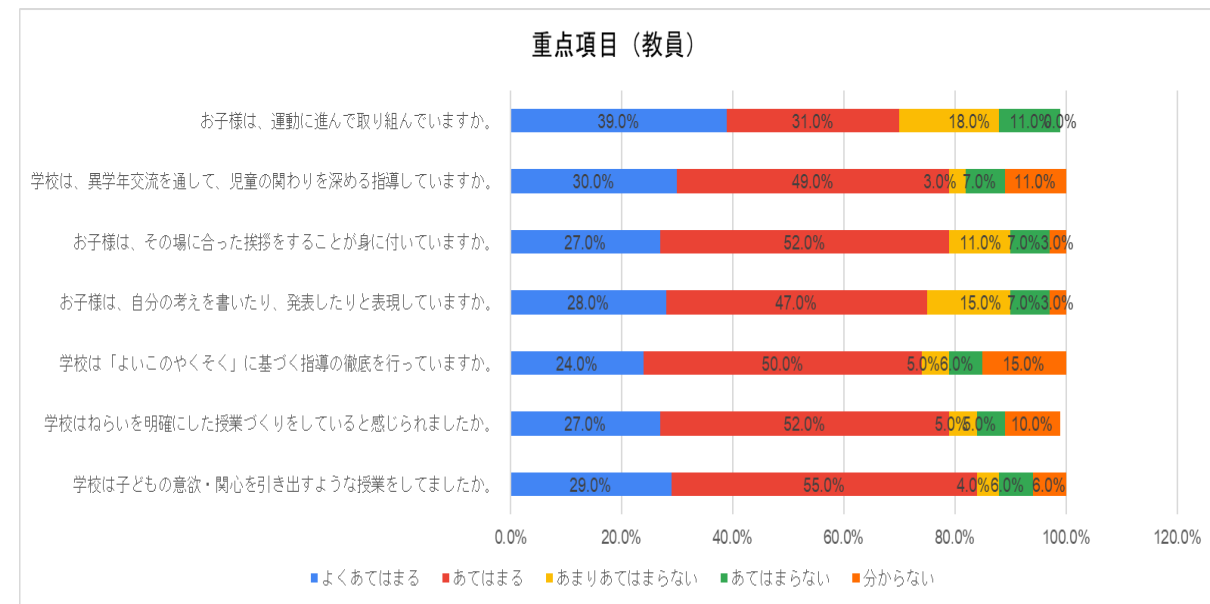
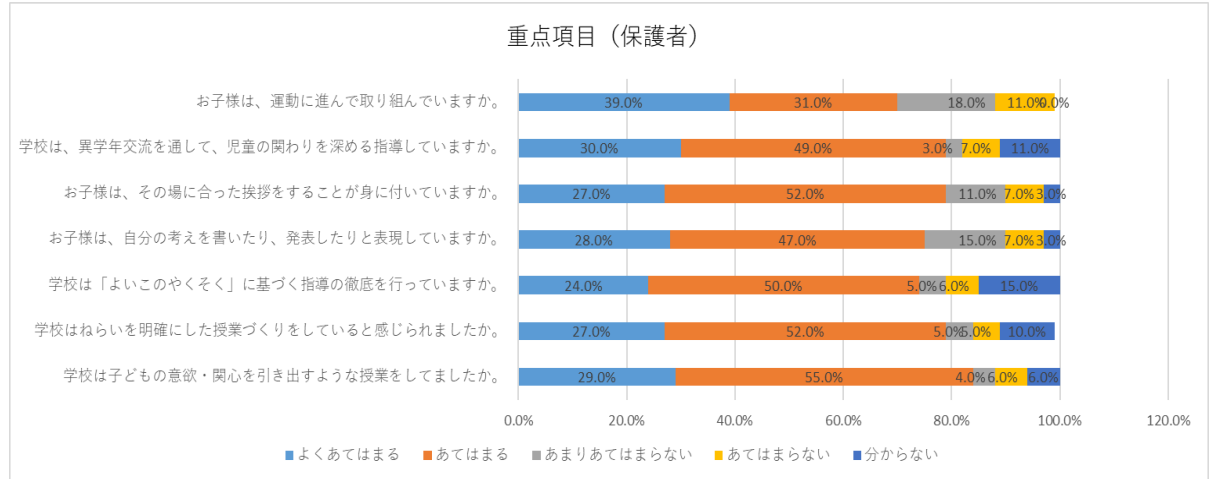
校長名：永木 一郎

児童数 818人

学級数 25学級

教員数 29人

1 重点目標の達成状況及び取組状況



重点目標 1

保護者アンケートの「授業参観などから、学校はこどもの意欲・関心を引き出すような授業をしているか」という項目の肯定的な評価は、84%だった。また、「授業参観などから、学習のねらいを明確にした授業づくりをしているかと感じられますか」という項目の肯定的な評価は、79%だった。上記2項目については、「授業参観などを通して」という条件の設定であるが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学校公開を1回しか実施していない。また、学校公開日についても、各学年1時間の授業参観であり、評価をする判断材料が不足していると考えられる。

その中でも、保護者アンケートの全体の評価での質問では「学校は学習内容が分かりやすく授業を行っている」という項目の肯定的な評価は79%と80%を下回った。一方、「学校は児童に基礎学力が身に付くように教えている」という項目の肯定的な評価は85%と高評価を得た。また、児童に行ったアンケートの「授業の内容はよくわかります」の肯定的な評価は97%と高い評価を得た。タブレット端末が児童一人一台配布され、授業形態も前年度より大きく変わったことによる影響があると考えられる。一方で、保護者の来校機会は1回しかなく、タブレット端末の活用した授業への保護者の理解の浸透が必要である。さらに、保護者・地域の方々からの信頼と期待に応えるために、今後はタブレット端末の活用した授業の情報を発信が必要である。

また、今年度はタブレット端末の活用をテーマに校内研究を重ねた。次年度も、教員一人一人がタブレット端末を活用し、教員のタブレット端末の活用した授業力の向上を目指していく。

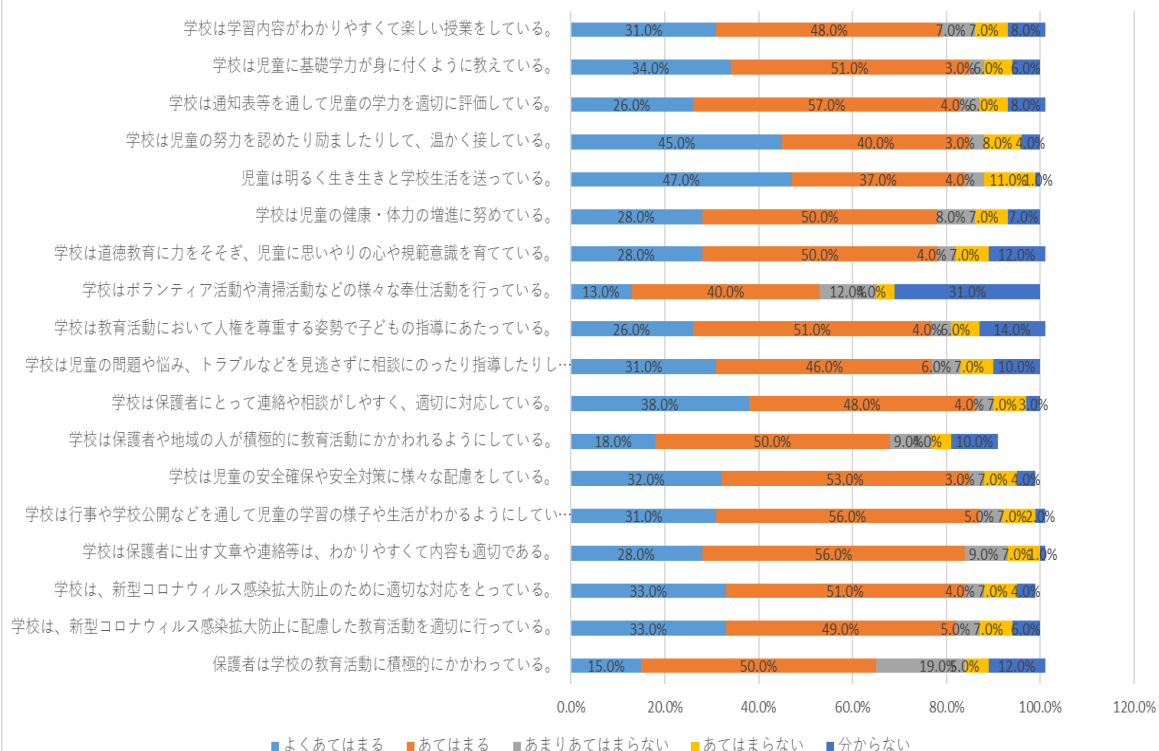
重点目標 2

保護者アンケートの重点項目の「学校はよいこのやくそくに基づく指導の徹底を行っている」という問いの肯定的な評価は、74%と前年度より低下した。本校では、「よいこのやくそく」の共通理解を基に、児童指導を行っているが、肯定的な評価につながらなかった。令和3年度は、前年度同様に、全ての教育活動内でのマスク着用・手洗い・消毒の励行など、新しい生活様式に対応した児童指導に対する、保護者・地域の方々への理解と協力を得るような情報発信が不足していた。来年度に向けて、「よい子のやくそく」の見直しと改訂を行っている。新しい生活様式に対応した「よいこのやくそく」の見直しと、教員間の共通理解、そして保護者・地域の方々への理解・協力を得られるような情報発信を行っていく。

重点目標 3

令和3年度は、前年度同様に各学年で行う挨拶運動を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施を見送り、代表委員会を中心とした挨拶運動を行った。保護者に実施したアンケート重点項目の「お子様は、その場にあったあいさつをすることが身に付いていますか」という問いの肯定的な評価は、79%だった。一方、教員に実施した重点項目のアンケート「あいさつ運動をして、児童はあいさつができるようになっていきますか」という問いの肯定的な評価は42%と前年度の36%より評価が上がった。教員の児童に対する挨拶の評価が低いことは本校の課題であった。教職員が児童の挨拶に対する意識の変化と、児童の挨拶に対する意識の変貌を読み取ろうとする姿勢が評価の変化に表れたと考えられる。

全体の評価（保護者）



2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

保護者アンケート全体の評価の「学校は児童に基礎学力が身に付くように教えている」（肯定的評価 85%）、「学校は通知表等を通して児童の学力を適切に評価している」（肯定的評価 83%）、「学校は児童の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している」（85%）、児童は明るく生き生きと学校生活を送っている」（84%）、「学校は保護者にとって連絡がしやすく、適切に対応している」（86%）、「学校は児童の安全確保や安全対策に様々な配慮をしている」（85%）、「学校は行事や学校公開などを通して児童の学習の様子や生活が分かるようにしている。」（87%）、「学校は保護者に出す文書や連絡等は、わかりやすく内容も適切である。」（84%）、「学校は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために適切な対応をとっている。」（84%）、「学校は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した教育活動を適切に行っている。」（84%）、「学校は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した教育活動を適切に行っている。」（82%）と18項目中、10項目が80%を超えた。また、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校行事の中止や教育活動の縮小であったが、本年は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、体育学習発表会や文化的学習発表会などの学校行事を規模縮小であるが実施することができた。次年度も、体育学習発表会や文化的学習発表会などの学校行事の実施を通して、児童の成長に寄与する教育活動を実施していきたい。

3 今後の改善方策

今年度は、児童一人一台のタブレット端末が配布され、授業形式にも大きな変化があった。重点項目1の学力向上のための授業に関する教員・児童の肯定的な評価は9割近くと高くなっている。一方で、保護者の肯定的な評価は、8割となった。次年度も、校内においてICT研修を行い、授業への効率的な活用を図っていききたい。同時に、保護者・地域の方にも、タブレット端末を活用した授業についての情報発信を行っていききたい。さらに、児童のタブレット端末活用とともに、情報リテラシーの教育も学校だけでなく、家庭での協力を得て行っていききたい。